

2021/6/7

(うと Q 世話し ないない尽し )

今日は当店、定休日で給料日。

何とか振込みました。

此処で話は一転。

「水と共に生きる」で、今や健康産業のサントリーの名前の由来は初代社長が「鳥居さん（とりいさん）」で「さん」と「名前」の鳥居（とりい）を反対にしてサントリーになったとか。

又

「お値段以上ニトリ」の社名も社長さんが「似鳥さん」だからだそうです。

その伝に従えば当社の社名も自分の名前が「宇都宮」で、その漢字の音読み、宇宙の「う」東京都の「と」宮殿の「きゅう」で「うときゅう」

表記は「うと Q」

を冠しておるのはダジャレ精神に於いて「完全完璧相似同一」ですので

「是はひょっとするとコロナ渦後には彼の「サントリー」や「ニトリ」に匹敵するような大会社に大化けしているかもしれない」

と経営学的根拠全く「ゼロ」のほぼ「妄想」

「こじつけも、ここまで来ると、最早何でもあり」

を糧（かて）として何とか今の苦境を凌いでおります、

が、

それを聞いた隣の識者さんが、小刻みに頭を横に振って一言

「絶句!!」

と。

まあ、そんな戯れ言はさておき、今日は給料を支払ってどうにか一区切り着いたので、これから明日以降

「来月の資金繰りをどうやりくりするか？」

を、考えると致しましょう。

何せ、国、県からの資金援助は、上述の経営学的根拠同様

全くの「ゼロ」

なもんで。